

適用例

LYNX EVOによる 航空機点検の効率化

概要

航空会社にとって、定時運航と遅延の最小化は顧客満足度、運航効率、財務成果を左右する重要な要素です。特に、エンジンに関わる部分については、わずかな不具合も見逃すことはできないため、正確でありながら効率的な診断とメンテナンスができる仕組みが不可欠です。この事例では、当社のLynx EVOを航空エンジンの検査プロセスに導入した結果、なぜ検査精度および作業効率が向上したかをご紹介します。

なお、航空会社によっては「パワー・バイ・ザ・アワー」契約で診断とメンテナンスを外部委託し、予測可能なコストの維持と外部専門家の知見を得ることを両立しています。品質管理、迅速な対応、ターンアラウンドタイムの管理を直接行うため、自社内で専門チームを擁立している場合もありますが、いずれの場合においても、正確な検査ツールを備えることは、安全性の担保と遅延などの最小化に不可欠となっています。

課題

- 規制要件強化への対応と定時運航率を維持するため、エンジンの検査プロセスの高度化が必要となった。
- 高度化によって、既存のシステムを上回る検査の効率化と、報告の迅速化に対する期待値も高くなった。

ソリューション

- 当社のアイピースレス・ステレオ顕微鏡 Lynx EVO（クイーンズ・アワード受賞）を導入。
- 既存のCobraやDynoCamシステムの信頼性および実績に加えて、Lynx EVOの高い機能性およびサポート力が導入の決め手。

「Lynx EVOの高解像度画像と 迅速な分析機能により、検査に かかる時間を大幅に削減しました。」

(導入した航空会社様の感想)

導入の意義

Lynx EVO を導入することで、お客様は検査の精度を向上させながら、遅延を削減し、ワークフローの効率化を実現しました。この投資は、航空機点検における信頼性と定時運航への明確なコミットメントを示しています。

Lynx の評価

- **検査技師の操作性**
Lynx EVOの直感的な操作インターフェースとスマートコントロールによる操作性の向上によって、迅速な検査を実現。
- **より鮮明な画像診断**
すべてのマスターコントロールデバイス (MCD) をLynx EVOで検査した後、XRF スペクトル分析でボールベアリング上の1mm程度の微細な傷まで特定。
- **効率的なワークフロー**
Lynx EVOで検査結果を確認し、文書化から報告までを一貫して実施。ステップ・バイ・ステップのプロセスにより、問題発生時の調査・承認もサポート。

導入メリット

- **情報フローの高速化**
検査データの収集・解釈・共有が迅速
- **シフト交代の効率化**
異なるシフト間のコミュニケーションが容易
- **人間工学設計**
疲労を軽減し、長時間の検査作業をサポート
- **技術者からの信頼**
訪問者や関係者へのデモでも頻繁に活用

まずはご相談から！

当社ウェブサイトにて、Lynx EVO の詳細な製品情報をご確認いただけます。

<https://www.visioneng.jp/products/eyepiece-less-stereo-microscopes/lynx-evo/>

まずはご相談から承ります。Webフォームもしくはお電話から、ご連絡お待ちしております。

Web <https://www.visioneng.jp/contact/> Tel **045-935-1117** (平日の10時から17時まで)